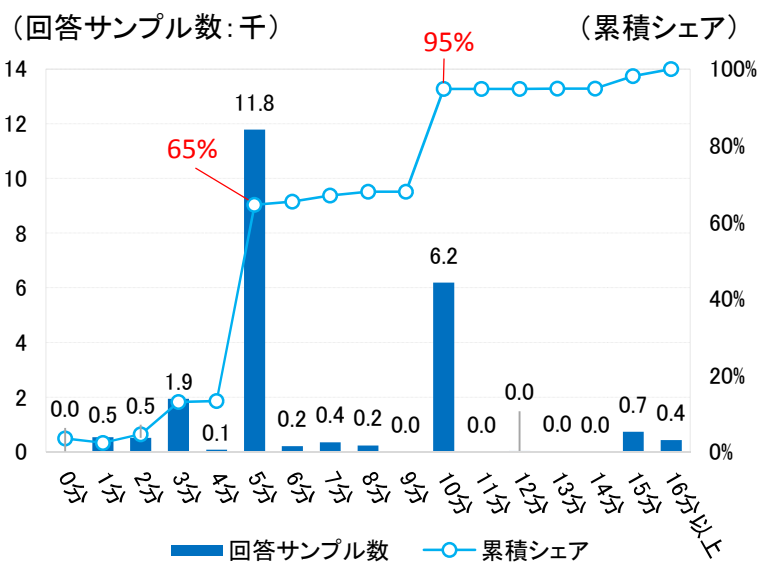


希望するバス停までの時間は、「10分以下」までで95%

希望するバス停までの時間と累積シェア

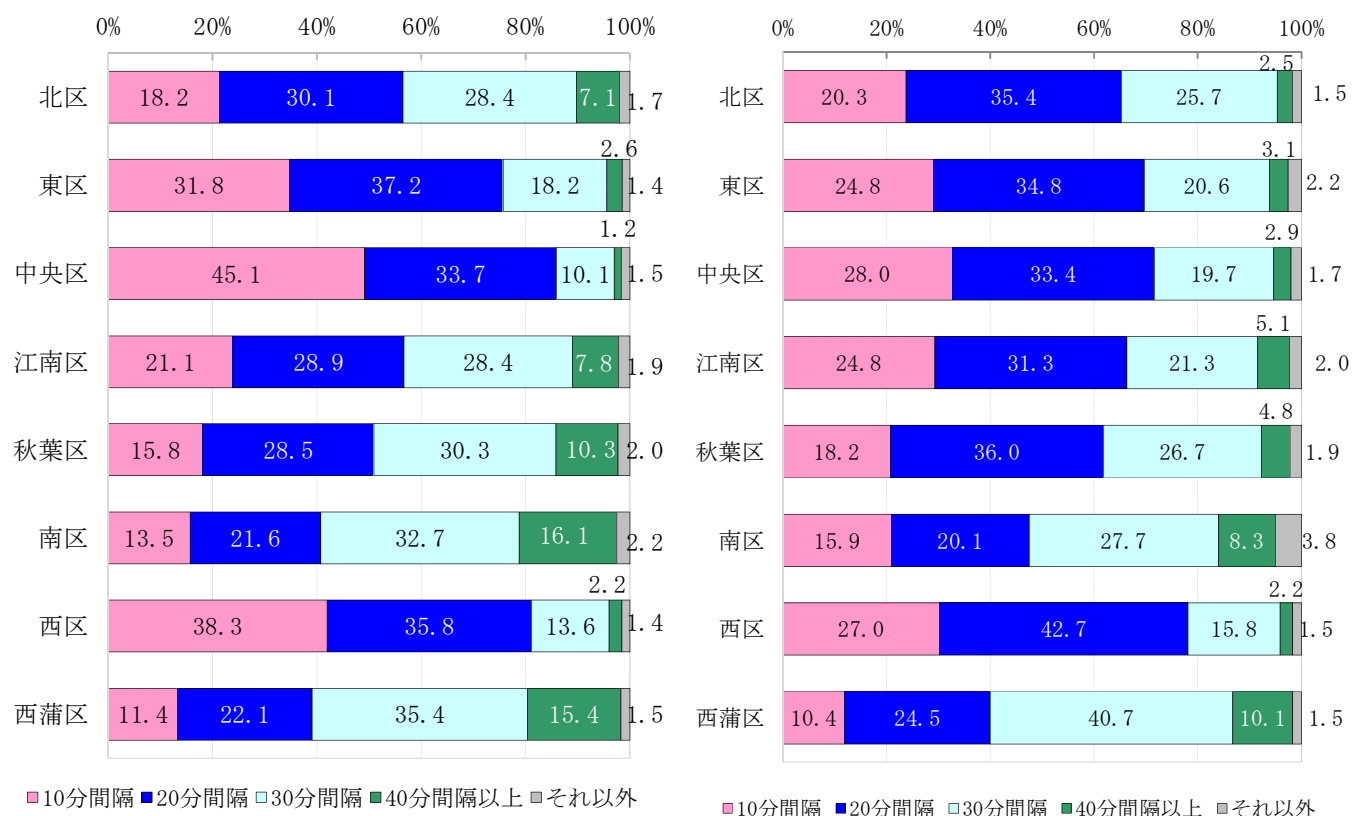
希望するバス停までの時間は、5分以下で累積シェアが約7割、10分以下で累積シェアが95%となっています。



中央区や西区では、短い運行間隔を希望する割合が高い

区別の希望する運行間隔 (左図：バス、右図：鉄道)

希望する運行間隔は、10分間隔の割合が中央区と西区でやや高く、バスで約4~5割、鉄道で約3割となっています。
一方で秋葉区や南区、西蒲区では、10分間隔を希望する割合は低く、それぞれ約1~2割となっています。



政令指定都市

にいがたの人の動き

新潟市内都市交通特性調査の結果 [概要版]



都市交通特性調査の概要

一日の交通行動 (いつ・どこへ・どんな目的で・どんな交通手段で移動) を把握
公共交通に期待するサービスレベル (運行間隔、バス停までの距離) を把握

- ◆調査範囲 新潟市全域
- ◆調査対象 平成28年7月末日現在の住民基本台帳に登録される5歳以上の市民
- ◆配布世帯 36,673世帯 (無作為による世帯抽出)
- ◆実施方法 郵送による配布、回収
- ◆対象日 平成28年10月18日 (火)、19日 (水)、20日 (木) のいずれかの指定

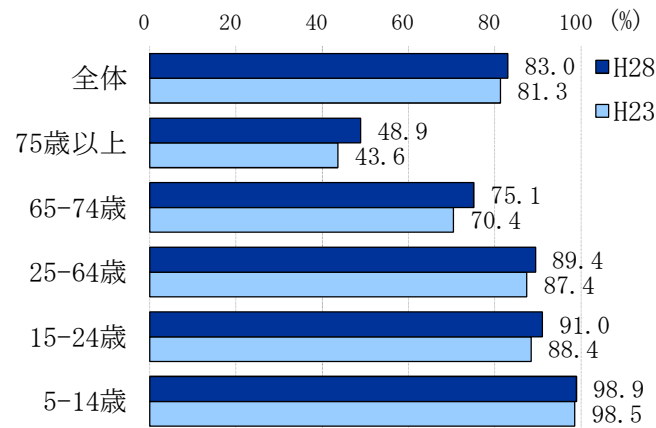
5歳以上人口 (H28.7)	対象世帯数	対象個人数	回収個人数	抽出率	回収率
769,500人	36,673世帯	84,952人	25,700人	11.0%	30.3%

高齢者の外出率が増加
公共交通の利用割合が増加

- 外出率が83.0%と、平成23年から増加しており、特に65歳以上の階層での増加傾向が目立ちます。
- 平成23年と比較すると、鉄道、バス、自動車の利用割合が増加しており、徒歩、自転車が減少しています。
- ほとんどの年代において自動車の利用割合が増加しており、特に65歳以上の階層での増加傾向が目立ちます。
- 15~64歳では鉄道、バスを利用する割合が若干増加しています。

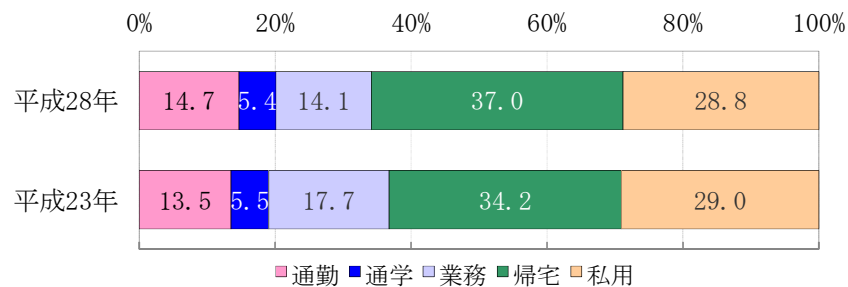
高齢者の外出率が増加！

- ・外出率が83.0%と、平成23年から増加しています。
- ・特に65歳以上では外出率が増加しています。

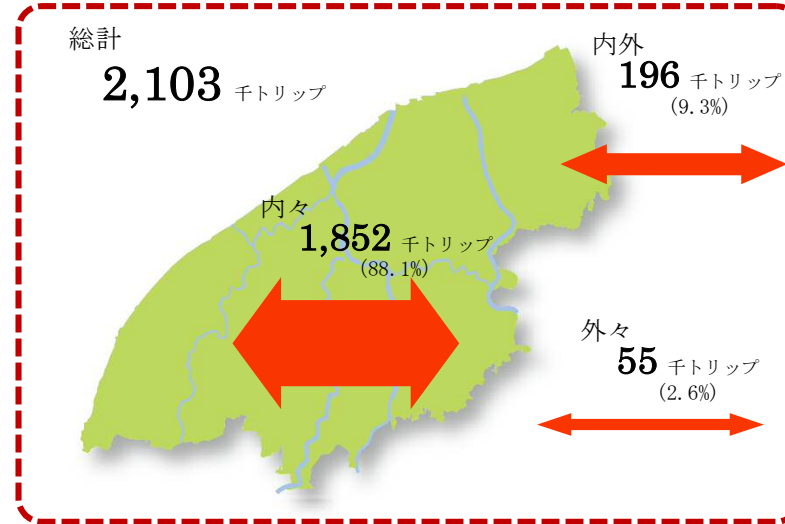


通勤は多く、業務は少なくなる傾向に

- ・通勤目的による移動の割合が平成23年と比較して微増しています。
- ・一方、業務目的による移動の割合は、少なくなっています。



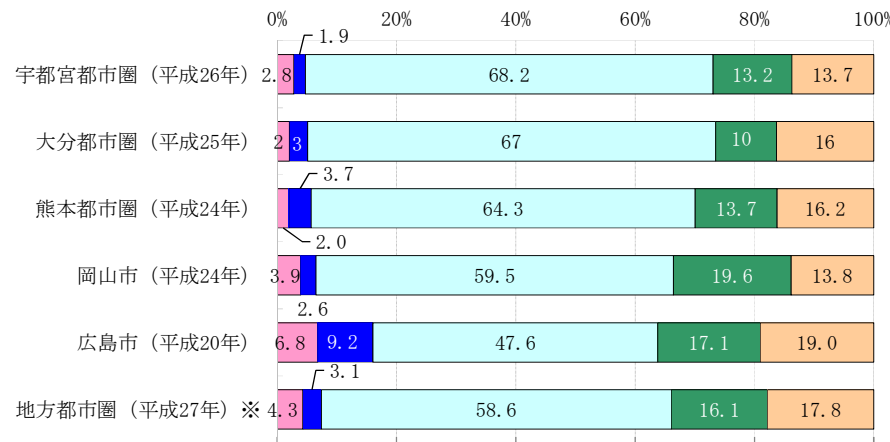
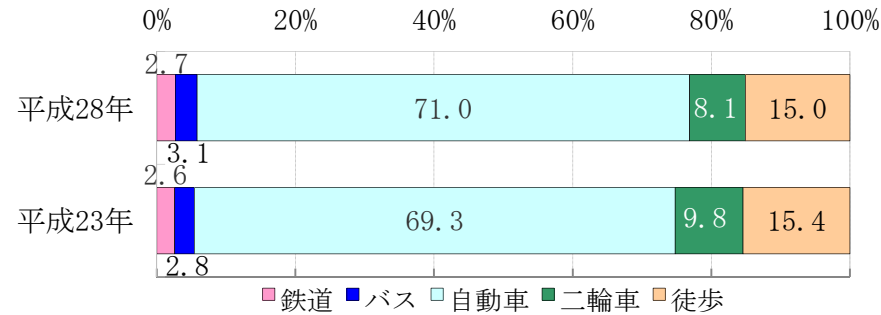
新潟市居住者の総トリップ数 - 約210万トリップ/日



内々トリップ：市内に出発地と到着地を持つ移動
 内外：出発地または到着地のいずれかが市内である移動
 外々：市内に出発地と到着地を持たない移動

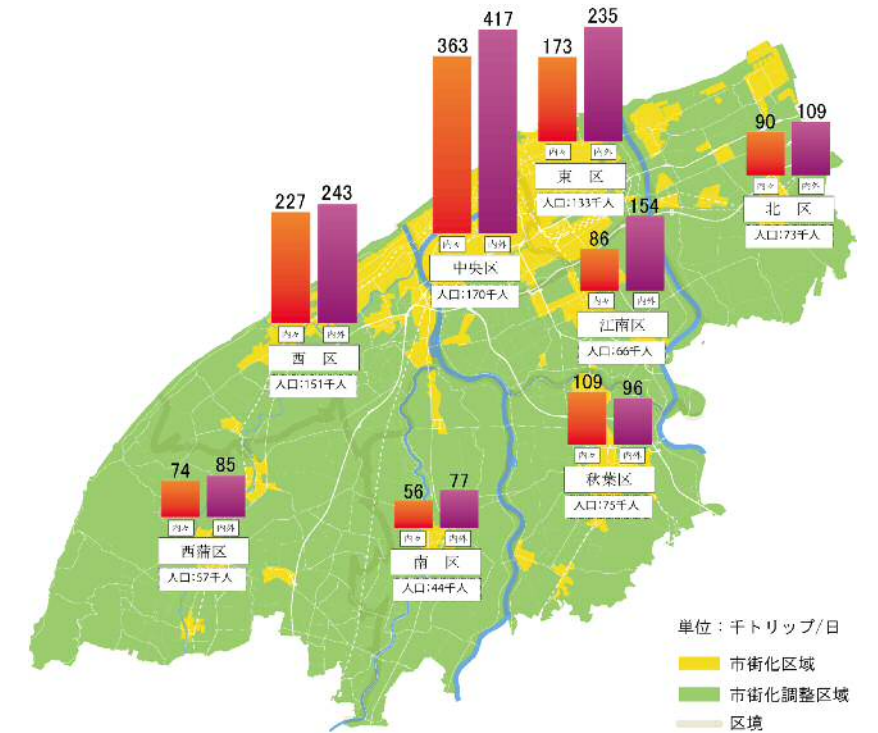
代表交通手段構成は公共交通がわずかに増加！

- ・自動車を利用した移動が最も多く、約7割を占めています。
- ・平成23年と比較すると、バス、鉄道、自動車が若干増加しており、徒歩、二輪車が減少しています。



※平成27年全国都市交通特性調査(速報版)を参照

区における人の動き - 区の内々・内外トリップ数



内々トリップ：区内に出発地と到着地を持つ移動
 内外：出発地または到着地のいずれかが区内である移動

※人口は5歳以上の人口

高齢者の自動車利用割合が増加！

- ・ほとんどの年代において、自動車を利用する割合が増加しており、特に65歳以上の階層での増加傾向が目立っています。
- ・15~64歳では鉄道、バスを利用する割合が若干増加しています。

